

# 地域をまもる。だより

## Vol.1

〈発行日〉2021年12月5日

〈発行者〉原田守 事務所／松江市雑賀町225 TEL.0852-27-0925 FAX.0852-20-0460



**ウィズコロナを考え、地域の持続可能な未来のために活動します!!**

4月19日午前1時30分当選が確定いたしました。深夜にもかかわらず、多くの方々が共に当選確定を喜んで下さいました。

おひとりおひとりが、私にかけて下さったお言葉をしっかりと胸に刻もうと必死でした。

その日の内に市役所に登庁し、指定された席に着くと多くの書類が入った大きな袋と、小さな木箱がひとつ置かれていました。

箱には真新しい市議会議員バッジが収められており、取ろうとした手が緊張で震えました。厳肅な空気の中、石原選挙管理委員会会長より、当選証書を頂戴いたしました。当選証書を手にすると、市議会議員を目指し立候補を決意するまでの日々、「地域をまもる。」を掲げて立候補してからの日々を振り返りながら、やつとスタートラインに立ったことを強く

実感いたしました。

同時に、本当に多くの皆様から温かいご支援をいただいたからこそ、立つことができたスタートラインであることを痛感し感謝の気持ちが溢れました。

先輩議員よりお声掛けを頂き、保守系最大会派である「松政クラブ」に所属させて頂く事となりました。「松政クラブ」は、歴代議長を輩出する伝統ある会派であり、市政運営に対し責任を持つて取り組んでいます。

以来、新人議員同士自ら主催した勉強会を始め様々な委員会に出席して、議員としての見識を深めるよう務めております。

6月定例会では、松江市民の皆様代表であるという自覚を噛みしめ、一般質問に臨みました。身の引き締まる思いからか、これまでに感じた事の無い緊張感に包まれたように思います。

今後は、市民の皆様との対話を大切に

## 令和3年5月臨時会 委員会配属決定



し、出来るだけ多くの声に耳を傾け、重責を果たすべく、議員活動に邁進する覚悟です。

まだまだ至らない点もあるかと思いますが、変わります皆様からのご指導、ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。

常任委員会(本会議に必ず開催される)

◆教育民生委員会 副委員長

特別委員会(必要に応じて開催される)

◆まちづくり対策特別委員会

◆新庁舎建設特別委員会

◆議会広報等委員会 委員長

以上4つの委員会に配属が決まり、2つの委員会では役職も拝命し、責任の重さを感じております。

## 地域をまもる。だより

### 教育民生委員会での活動

- 議題64号～66号 条例の一部改正について
- 議題69号 松江市湖南中学校校舎大規模改修について
- 議題71号 財産の取得について(給食センター)老朽化した食器、食缶洗浄機の更新
- 議題76号 令和3年度一般会計補正予算について承認8号、10号、14号、18号、19号、20号専決処分の報告について

委員会は、質問と答弁がなされ活発に議論が交わされました。私は、承認18号専決処分の報告において、令和2年度松江市立病院事業会計補正予算の時に「残高について」質問し答弁を受けました。

### 議会広報等委員会での活動

- 第1回 5月14日 委員長と副委員長の互選委員長へ選出
- 第2回 5月27日 議会等広報員会の概要「まつえ市議会だより」No.48スケジュール確認
- 第3回 6月17日 各ページ原稿確認、編集作業
- 第4回 7月14日 第1回校正作業
- 第5回 7月26日 第2回校正作業
- 7月30日 「まつえ市議会だより」No.48校了
- 8月27日 各戸配布

私は全体の確認と全ページの校正や3ページ目の「6月定例会」と最終ページの「編集後記」を担当いたしました。すべてが公式文書ですので神経を使います。

### 7月の大雨について

令和3年7月は梅雨前線の活発化により主に県東部で大雨が続きました。6月定例会開催中の7月7日、早朝からの大雨に気象庁が中国地方初の「顕著な大雨に関する情報」を松江市内に発表しました。線状降水帯の発生で1日174.5ミリの雨量を計測し、市は全域に警戒レベル4の非難指示を出しました。市内各地で土砂崩れや浸水被害により通行止めはもろろん、松江市のホームページへのアクセスが3時間、困難になる通信障害も起こりました。

古志原地区でも、地域防災を担う方々の見回りにより公民館には続々と情報が入りました。生命に危険が及んだ情報はなかったようですが、それでも多くの被害情報がありました。被害の大きさからすれば、先ず一の谷の土砂崩れです。斜面が32×10メートルに渡って崩れ家屋に迫っている状態でした。災害発生直後、古志原地区自治会連合会・篠原会長が現場に駆け付け、関係者の招集、関係各所との連携により、迅速にブルーシートがかけられ被害の拡大は防がれました。家屋に被害は出ていませんが、早急な対応が必要な状況でした。

「ここで、皆さまに記憶に留めておいて頂きたい事があります。土砂によって公共の道路が通行止めになった場合や、人命がおびやかされる場合などは、公的機関によって緊急的に復旧作業がなされますが、今回のように、斜面の崩落があったとしても、家屋や道路に損害が無かった場合は、今後崩落の危険性があつたとしても、工事着手の為には、要望書の提出に合わせ、近隣住民5名以上の同意書が必要となります

す。その後もいくつかの手続きを踏んで工事へ進みます。そして多くの場合、工事金額の一部は地元住民の皆さまのご負担となります。」

私は、所属会派(松政クラブ)の諸先輩のお知恵を借りながら、工事決定まで最短の道筋を探り、市との折衝を重ねました。尚、海徳議員公明クラブは消防団員さんと共にブルーシート掛けや、地区の皆さまや担当部局との連絡、必要な書類集めなど東奔西走の活動をされました。更に村松議員志翔の会は古志原地区消防防災協会・岡本会長の指示のもと資材調達などもされました。

6回程度 話し合いの場が設けられ、地区住民の皆さまが積極的に参加されました。結果、令和3年度中に急傾斜地崩壊危険区域指定申請書を作るための調査が行われることとなりました。ここまでスムーズに行くと例はありませんが、我々、市会議員もお手伝いはさせて頂きました。地区の皆さまの団結とご協力があつて成し得た事と考えます。

今後も災害が起こってしまった場合には、住民の皆さま、相互の協力をもつて乗り切つていきましょう!!

そして災害に強いまち「古志原」を作っていきます!!



一 役所が保有するデータの見える化の推進と効果的な市政情報の発信について

1 「松江市まちづくりのための市民アンケート調査」に関連して

当選以降、説明会や勉強会で様々な資料を閲覧させていただいた中で、初当選議員のためにご用意いただいた資料の中に、「松江市まちづくりのための市民アンケート調査、令和2年度調査(概要版)」があり、大変興味深い内容であった。更に調べたくなり、原本をダウンロードしたが、残念に感じた点が幾つか見受けられた。

それは、市民アンケート調査の問い25で問われた「公共交通の利用しやすさ」で始まる、市民生活55項目にわたる満足度、重要度調査結果の集計方法である。

5つの選択肢、「満足、おおむね満足、あまり満足していない、全く満足していない、分からない」からお答えいただいている。

それを基に、全国平均との差異が一目で分かるようにグラフ化された満足度レーダーチャートがあるが、松江市のまちづくりを進めるに当たり、それ以上に注目すべきなのは、満足度の動向だと思う。松江市の課題を顕著に表せていると思うが、集計表が細かくて読みにくい。前回の調査より市民の皆様の満足度が上がったのか下がったのか、それが一目で分かるようにグラフ化して検証していくことが重要だと思われる。

二 新型コロナウイルス感染症経済対策について

Q 新型コロナウイルス感染症は、全業種に厳しい影響を与えており、その幅広い業種を救済するためにも、ほかの都市で見られるようなプレミアム商品券の発行が有効だと考えるが、このたびの補正予算では、飲食券発行事業にとどまっている。なぜ限定的な業種だけを対象とする判断をされたのか、その理由を伺う。

A プレミアム商品券については、他自治体で実施されていることは我々も承知をしており、確かに、生活者の支援あるいは消費喚起による事業者支援として、一定の効果があると考えている。一方で、本市の過去行った実績を見ると、5割超が食料品スーパーなどで利用されており、利用先の業種が偏る傾向もある。

コロナ禍においては、巣籠もり需要を受けて、スーパー、ホームセンターの売上は増加している状況であり、市としては、まずは事業者に直接給付する給付金事業を優先して実施し、幅広い業種を支援したいと考えている。加えて、プレミアム付飲食券発行事業を実施することで、消費喚起とともに、特に深刻な影響を受けている飲食事業者の支援を行ってまいりたいと考えている。

Q 一方、事業継続支援給付金を計画しているが、昨年度の経営支援給付金と大きく違うところはどこか伺う。

A 昨年度実施した事業者向けの給付金は、主に小規模事業者を対象とし

また、今回は平成27年度データと比較されているが、前年度の令和元年度データも入れて比較されるとさらに有効ではないだろうか。

また、このアンケートでもとても貴重だと感じたのが、まちづくりについての市民の皆様の見解(抜粋)のページである。このアンケートは、全体を通して78項目にもわたり実際、回答をいただくには大変な時間を要したと思われる。ここには、市民の皆様が、まちづくりに対する熱意がこもっているが、ただ、残念なことに、とても字が小さくて読みにくい。ダウンロードした際、家庭用のプリンターは主にA4判であるので、最低でもあと三、四ポイントは文字を大きくしていただく配慮が必要であろう。そうした小さな思いやりが、「情報の見える化」イコール分かりやすさの向上につながると思う。

そして、いただいた御意見に対し、既に改善された部分もあるように見受けられるし、進捗中の案件もあるかと思う。それらをぜひ公開していただきたい。例えば、ホームページ上にQ&Aコーナーもしくはよくいただく質問コーナーをつくり、発信されてはいかかであろうか。「まちづくりアンケート」について、私の意見を述べたところで、以下のとおり、幾つか質問させていただく。

Q この市民の皆様からいただいたご意見が2020年度は公表されているが、それ以前は調査表に記載されていない理由を伺う。

1、377名に及ぶ市民の皆様のご意見

て、国の持続化給付金を受給した事業者に対して、基本的には一律10万円を上乗せするものとして行ったところである。今年度計画している給付金は、市単独の事業として、対象事業者を中小企業者まで拡大し法人の方には20万円、個人事業者の方には10万円を給付することとしている。

三 アフターコロナを見据えた対策について

Q ワクチン接種も進み、アフターコロナにおいて、生活様式の変化を見据えた中、一番先に来るのが、さらに進んだ情報化社会だと考える。この秋にはデジタル庁が新設され、WiFi環境を含めた情報通信環境の整備が地域創生の鍵となると言ってもいいのではないか。

が集約されたこのアンケート調査は、市長並びに執行部の方々が再三御答弁されている情報分析の基となるデータにほかならず、次期総合計画の策定においてどのように反映されるか伺う。

A まちづくりのための市民アンケート調査であるが、2020年度実施分から、市民の皆様からの御意見をこれまで以上に広く周知させていただきたいといった思いから、個別意見をホームページに掲載したところである。この皆様からいただいた御意見は、各方面からの委員で構成する総合計画審議会で議論を深めさせていただき計画に反映をさせていただきたいと考えている。

2 効果的な市政情報の発信について さて、上定市長は、所信表明でも、市民に寄り添う市政の実行を表明され、市民の皆様との対話を最重要視されている。そこで、市政の情報発信について2件質問させていただきます。

Q 総合計画策定に際し行われる市民の皆様との意見交換をはじめ、様々な場面での意見交換会は、Zoomなどを利用して、双方方向オンライン説明会などを活用して、できるだけ多くの市民の皆様のご意見を聞くべきと考えるが、いかがお考えか、伺う。

A この総合計画の策定に当たりましては、高校生や大学生など若年層を対象としたワークショップや、地域ごとに開催するタウンミーティングなどで、幅広く市民の皆様と意見を交わす機会を設けていきたい。

来るその時代を踏まえ、現時点での市内公共施設、観光施設におけるWiFi環境の設置状況と市長御自身の満足度を伺う。

A 上定昭仁市長答弁…フリーWiFiについては、市役所本館正面玄関や各支所のほか、市総合体育館、市民活動センター、市総合文化センターなどの公共施設をはじめ、松江城山公園、小泉八雲記念館、松江フォーゲルパークなどの観光施設に設置し、その箇所をホームページ等で公表している。また、昨年度、市内29の公民館にも設置している。

私の満足度についてお尋ねいただいたが、まだ増やしていく必要、余地があるものと認識している。とりわけ外国人観光客にとっては、フリーWiFiがつながる環境が訪問先を選ぶ際の重要な要素となつてくると考えている。また、市民の皆様にとつても、フリーWiFiによつてまちなかで情報を入手できる利便性が高まると、まちづくりなどへの活用の可能性も広がるものと考えられることから、フリーWiFiの設置を進めていきたいと考えている。

Q 国際文化観光都市70周年を迎えた松江市の産業の中心の一つはやはり観光である。そのことを踏まえて、アフターコロナでは、自家用車、レンタカーを活用した観光が見込まれる。そうした中、県立美術館の利用者はもとより、宍道湖畔を散策するなど楽しむ皆さんが多く利用している美術館の駐車場は、天井改修工事のため当分利用できないが、この夏、秋の観光シー

いと考えている。その中で、オンラインや直接対面など、対象となる方々の状況に応じて、有効な手法を検討してまいりたいと思っている。

Q 市民の皆様が自宅や職場に居ながら市役所とつながる窓口がホームページであるが、より分かりやすく情報発信していくためにも、市のホームページのリニューアルが必要だと感じるが、市長のお考えを伺う。

A 上定昭仁市長答弁…情報発信についてだが、市のホームページをはじめ、テレビやラジオ、YouTubeやツイッター、フェイスブック、インスタグラムなど、あらゆる媒体を活用し、それぞれの特色を生かして発信することによつて、市民の皆様がタイムリーに市政情報をお届けできるよう努めている。

ホームページについては、掲載すべき市政情報が多岐にわたり、また情報量も非常に多いことから、特にお知らせしたい情報については、トップページから該当ページへリンクを張るほか、今年3月には、目的とする情報を探しやすいようにレイアウトを改定するなど、分かりやすい情報発信に、心がけている。

今後も情報発信に力を入れ、市民の皆様に分かりやすく伝えできるよう、デザイン、内容や機能については、専門家の方あるいは市民の皆様のご意見も取り入れて、常に改良してまいりたいと考えている。



専門家の方あるいは市民の皆様のご意見も取り入れて、常に改良してまいりたいと考えている。

ズンに向けて、宍道湖畔の駐車場対策についてどのようにお考えか伺う。

A 観光動態調査によると、本市を訪れる観光客は、自家用車を利用される方が宿泊観光客の約5割、それから日帰り観光客の約8割ということで、自家用車を多く利用していただいている。また、コロナ禍にあつては、移動手段として自家用車、レンタカーの利用が増えてきている現状である。

宍道湖畔については、宍道湖の夕日をキーワードにした情報発信の展開、またサンセットカフェやキッチンカーによる魅力づくりの効果により、夕日スポットから岸公園にかけて多くの人々が集まるようになっており、これに伴い、駐車場の利用も今後増えていくものと考えている。湖畔付近には、夕日スポット「とるば」の駐車場、それから9号線沿いの湖岸側駐車場、岸公園駐車場があり、そのほか、天神町、寺町周辺にも市営白潟駐車場や民間駐車場が多数ある。ぜひこうしたまちなかの駐車場も御利用いただき、商店街でのまちあるき、消費拡大にもつなげていきたいと考えている。

夏、秋の観光シーズンに向け、松江観光協会のホームページあるいはSNS等を通して、駐車場情報の発信に努め、より多くの市民や観光客に水辺の空間を楽しんでいただく仕掛けづくりを行ってまいりたいと考えている。

一般質問の動画はこちらからご覧いただけます。

